

「はあと」

東陽ふれあいネット
事務局：東陽中学校内
電話：33-5461

令和3年11月19日夕刻の一時

満月のほとんどが隠れる部分月蝕を楽しみましょう！ 今年2回目の月蝕は、夕刻の月の出には欠け始めています

今夏は、COVID19及びその変異デルタ株の感染蔓延により、「ものづくり」などみんなが集まって楽しむ場を持つことができませんでした。ヤツと、「緊急事態宣言」や「蔓延防止等重点措置」は解除されましたが、コロナウイルス感染の終息はまだ先のように感じ、インフルエンザの感染流行が危惧されています。そのため「冬の星空観望会」「歴史探訪」の開催は見送ることになりました。

さて、今年5月には「皆既月蝕」がありました。しかし、曇ってしまい観望できませんでした。ところが、今年は幸運にも、11月19日の夕刻に「皆既月蝕に近い部分月蝕」が起こります。月蝕は、肉眼で楽しむことができ、携帯電話（当然、コンパクトカメラでも）で簡単に撮影することができます。家族揃って、ご近所ヒ、ワイワイ、天体ショーを楽しんでは如何でしょうか？

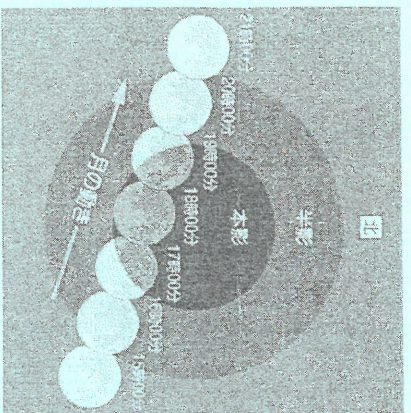
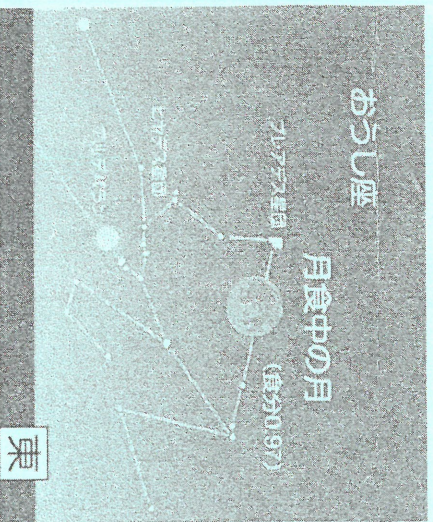
11月19日の満月（11月の満月の通称は、ピーバームーン）が東に顔を出すの

は大阪で16時48分頃で、既に満月が欠けた状態になっています。

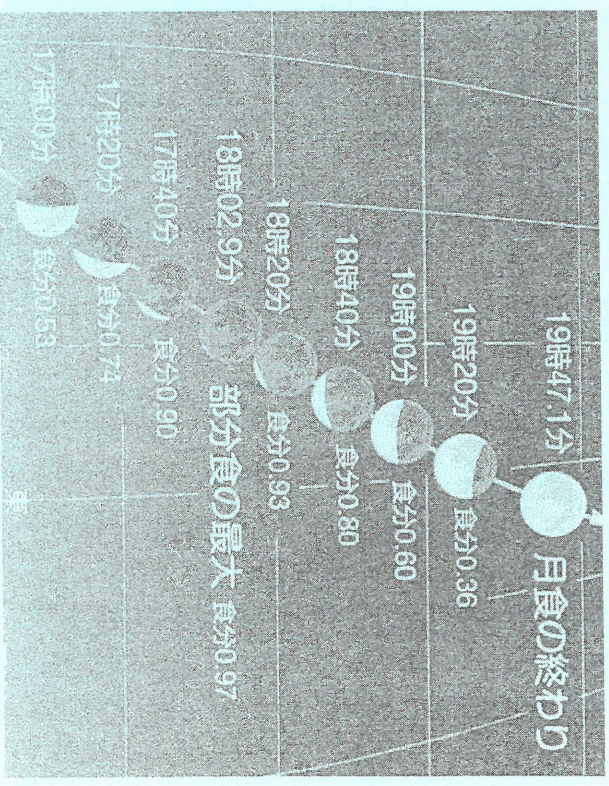
今回の月蝕は皆既月蝕に近い（蝕分0.98）部分月蝕になります。

蝕分が0.9以上になると、それまで月の明るさで見えなかった星々が姿を現します。

月蝕中の月はおうし座に位置し、近くに「アラデス[昴：ヌバル]」や赤い「アルデバラン」を楽しむことができます。



月蝕は、月が地球の影になる所を西から東へ（1ヶ月で地球一周）移動するために起こります。



木星・土星も見逃さない

木星は-2.4等の巨光を放つてやぎ座と水瓶座の境で輝いています。日暮れ時、ひときわ明るく輝く星を見つけたら、太陽系最大の惑星である木星と見て間違いない。

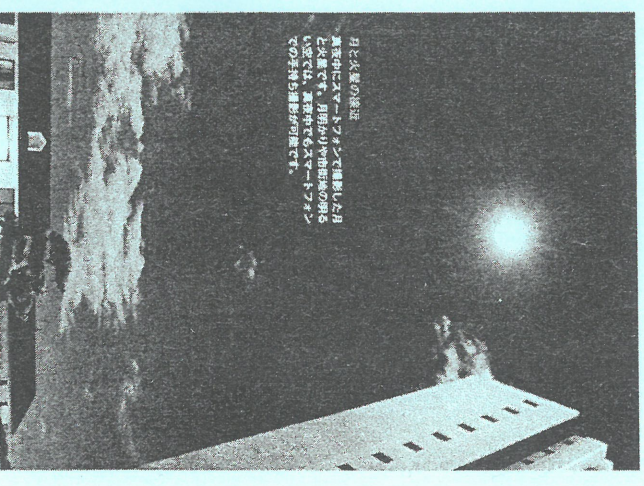
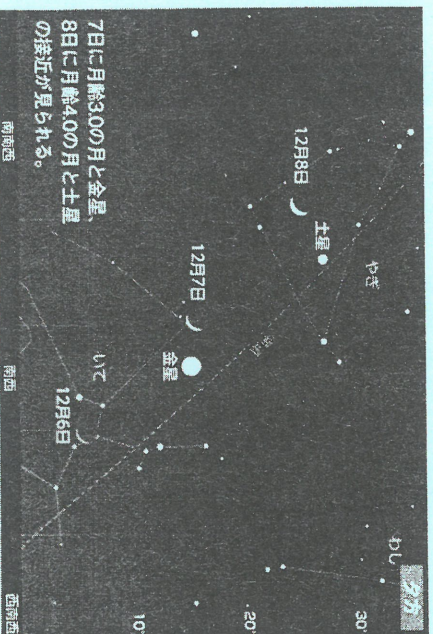
土星は、木星の直ぐの西に0.6等の明るさで輝いて見えます。小口径の望遠鏡で美しい「環」も見る事ができます。



スマートフォンで月蝕をゲットしよう！

最近のスマートフォンカメラの性能は著しく向上し、光量の少ない月夜の風景、さらには星空までも簡単に写し撮れる機種もあります。今回の「月蝕」の撮影は、「全オート」で家の屋根や街灯りを入れながら撮影すると以外に良い写真が撮れるかも知れません。是非、挑戦してみてください。

シーイングが良ければ12月には（下図参照）月と土星（金星・木星も近く）をキャッチできるかも...



☆撮影アプリ(無料)の紹介
【夜撮カメラ】
アプリ内で10~50枚の画像を合成し、暗い夜景や夜空などを撮影するアプリです。